

# 東海経済レポート

## （2016 年 5 月）

～引き続き緩やかな回復基調ながら、一部に足踏みの動きも～

### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

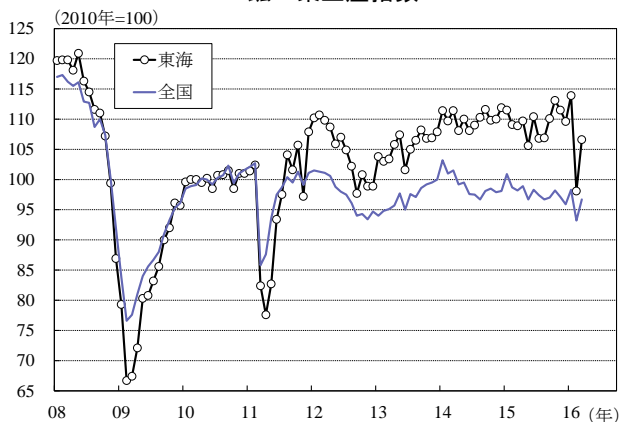
◇ 東海経済は、全体として緩やかな回復基調を維持しているが、一部に足踏みも見られる。生産は一時的要因を除けば輸送機械を中心に持ち直しを続けているうえ、消費も総じて底堅く推移している。ただ、設備投資は先行指標に慎重な動きが見られるうえ、輸出にも足踏み感がある。消費も自動車販売などには弱さが残る。

- ▶ 生産は、3 月の鉱工業生産指数が前月比+8.7%と 2 ヶ月振りに上昇した。業種別にみると、主力の輸送機械が 2 月の生産停止に伴う落ち込みから回復し、同+16.9%と大幅に増加したほか、電子部品・デバイスも同+7.3%と増加し、全体の持ち直しに寄与した。
- ▶ 設備投資は、その先行指標とされる金属工作機械の 3 月の国内受注額が前年比▲9.8%と 6 ヶ月連続で減少。最大の受注先である一般機械工業からの受注は 6 ヶ月振りに前年比増加に転じたものの、自動車工業からの受注が同▲37.1%と大きく落ち込んだ。
- ▶ 輸出額（円ベース）は、4 月に前月比▲6.2%と 2 ヶ月振りに減少。熊本地震に伴う自動車の生産停止の影響もあったと推察される。地域別では米国向けが同▲8.7%となったほか、アジア向けの同▲2.4%など、多くの地域向けで減少。品目別では、生産停止の影響から自動車が同▲13.6%と大幅に減少したほか、一般機械も同▲5.7%と落ち込んだ。
- ▶ 雇用は、需給の引き締まった状況が継続。3 月の有効求人倍率は、愛知県が 1.60 倍、岐阜県が 1.68 倍と 2 ヶ月振りに上昇。一方、三重県は 1.35 倍と横ばいで推移。水準としては、三重県がリーマン・ショック後の最高、愛知県と岐阜県もそれに近いレベルで推移している。
- ▶ 個人消費は、3 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+1.6%と、12 ヶ月連続でプラス。暖冬の影響もあり百貨店が 3 ヶ月連続で前年割れとなったものの、スーパーとコンビニの販売額が堅調で、全体を牽引。一方、3 月の新車販売台数は前年比▲8.5%と、7 ヶ月連続で減少。軽自動車販売の 2 桁減が不振の主因。
- ▶ 住宅着工は、3 月に年率換算で 8.8 万戸、前年比+8.3%。2014 年 4 月の消費増税以降で 2 番目に高い水準まで増加。利用関係別に見ると、貸家が同+16.2%、持家も同+12.3%と増加し、全体を牽引。

### 【生産①】

3月の鉱工業生産指数は前月比+8.7%と2ヵ月振りに持ち直した。

鉱工業生産指数

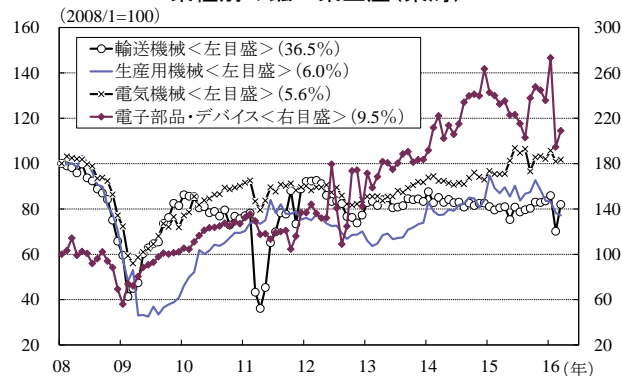


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

業種別では、ウェイトの大きい輸送機械、電子部品・デバイスが共に増加し、持ち直しに寄与。

業種別の鉱工業生産(東海)

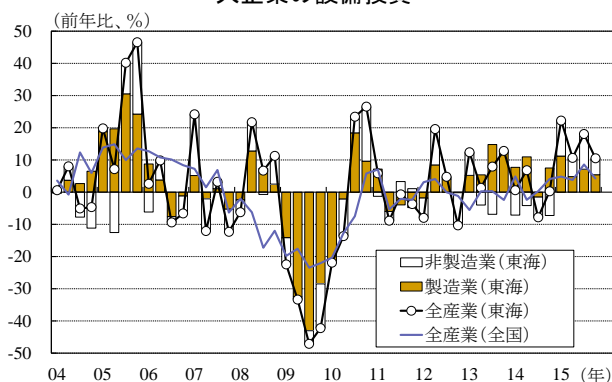


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(H22年基準。中部経済産業局算出)  
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

10-12月期の大企業の設備投資は、前年比+10.5%と4四半期連続で2桁の増加。

大企業の設備投資

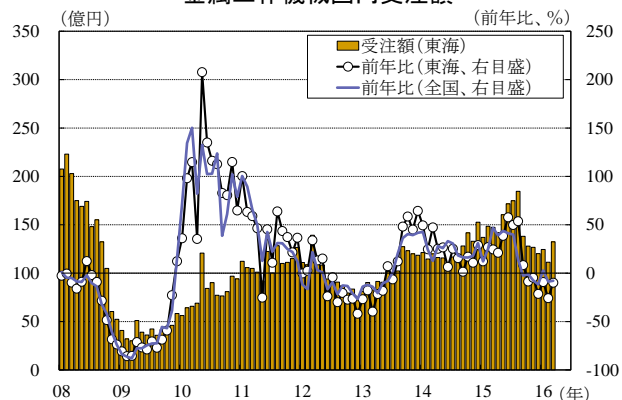


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は3月に前年比▲9.8%と、6ヵ月連続でマイナス。

金属工作機械国内受注額

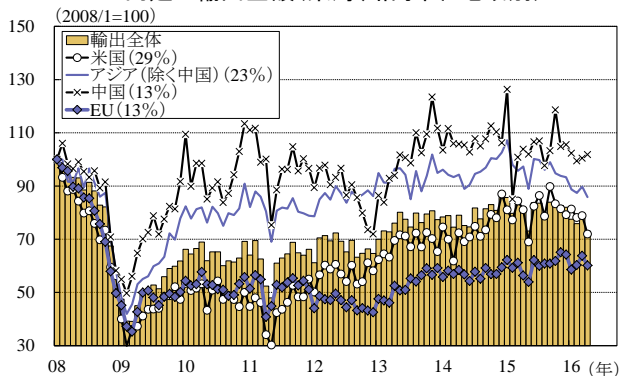


(注)1.東海は中部経済産業局管内の主要8社。  
2.『受注額』は当室にて季節調整。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

4月の輸出額(円ベース)は、前月比▲6.2%と2ヵ月振りに減少。米国、アジア向けの減少が主因。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

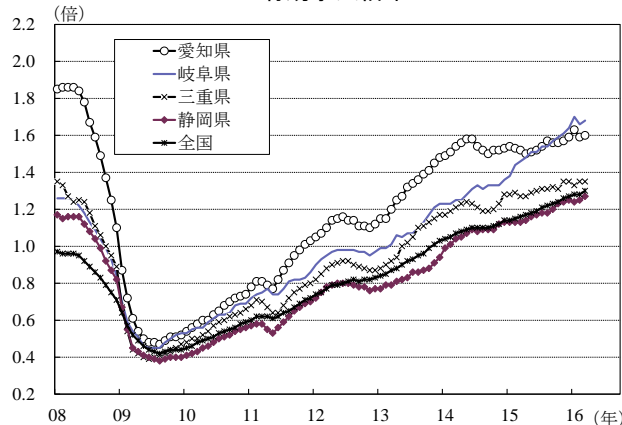


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.当室にて季節調整。  
3.( )内の数値は2015年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

3月の有効求人倍率は愛知県で1.60倍と2ヵ月振りに上昇。岐阜県も1.68倍に上昇。

有効求人倍率

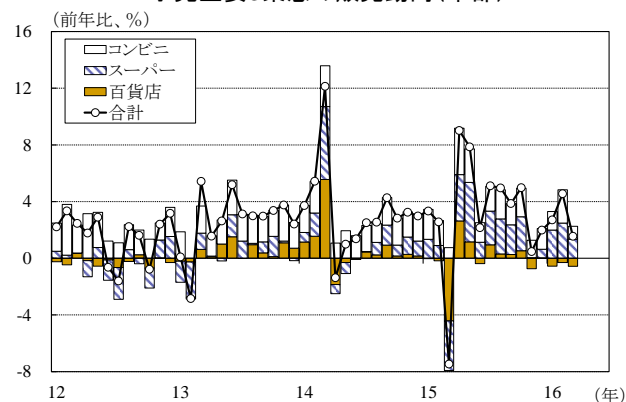


(注)『有効求人倍率』は、「有効求職者数」を「有効求職者数」で除したものの。  
(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【個人消費】

3月の小売主要3業態の販売は前年比+1.6%と12ヵ月連続でプラス。

小売主要3業態の販売動向(中部)

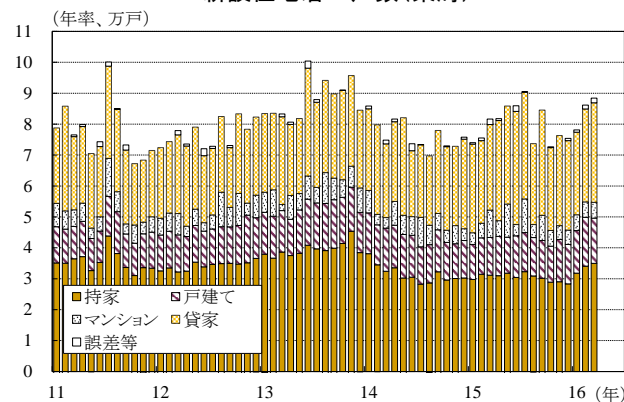


(注)1.『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
2. 当室にて季節調整。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

3月の住宅着工戸数は年率換算で8.8万戸と、2014年4月の増税以降で2番目の水準。

新設住宅着工戸数(東海)

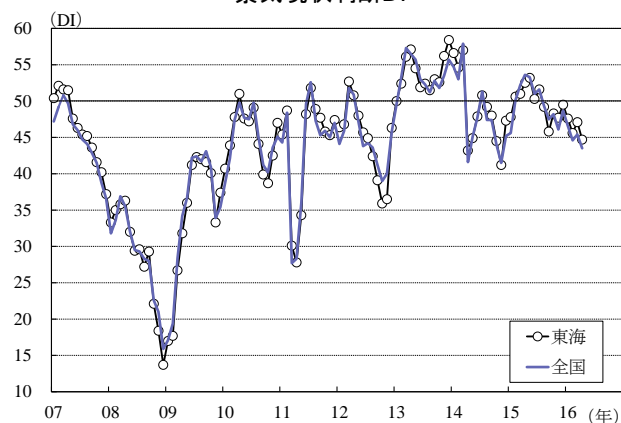


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 当室にて季節調整。  
(資料)国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

4月の景気現状判断DIは44.7と、9ヵ月連続で50.0を下回り、水準も3月から低下。

景気現状判断DI

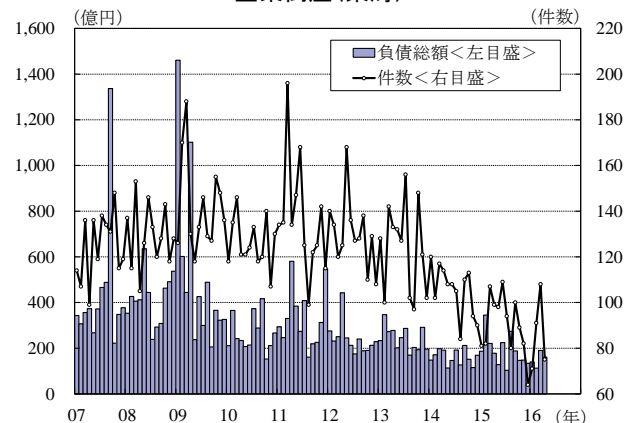


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

4月の企業倒産件数は75件と、前年比▲24.2%の減少。負債総額も同▲9.7%の減少。

企業倒産(東海)

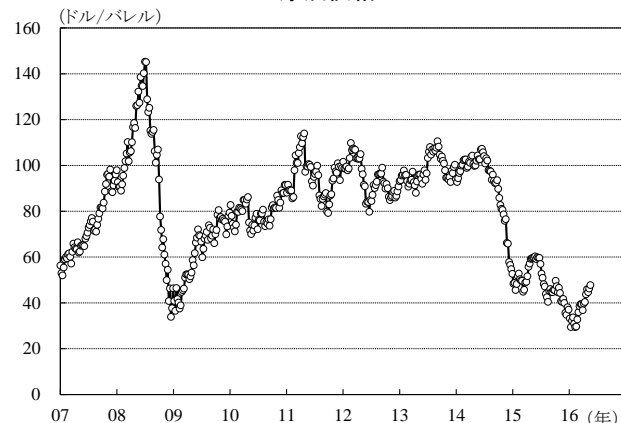


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

WTI先物は、シェールオイルの減産等を背景とした供給過剰感後退から、1バレル47ドル台まで上昇。

原油価格

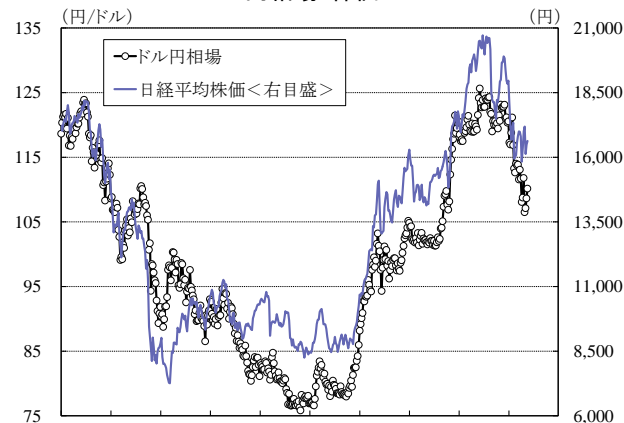


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

日銀の追加緩和見送り後、円高・株安が進行したもの、円相場、株価共にやや水準を戻して推移中。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。